

2015年度公益財団法人熊本YMCA事業報告書

[公益目的事業]

**A. ウェルネス事業** (野外教育活動及び健康教育活動)

1. 野外教育活動

(1) 自然体験活動:

【活動計画及び目標人数】

①通年野外クラス

1)インディアンズクラブ (宿泊を伴う野外活動)

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	4名	3名	7名	3名	8名	3名	8名	4名	27名	13名

[年間評価]

年間を通じ、在籍数が少ない状況での活動となった。在籍生の高学年化により、月毎の出席率が思わしくなく、安定した収入につながらなかった。また、リーダーについても4-5名の固定化はできたものの、リーダー会の活性化までは、つながらなかった。

2)サタデーインディアンズクラブ (日帰り野外活動)

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	4名	2名	14名	10名	8名	6名	4名	4名	30名	22名

[年間評価]

新入会が少なかったため、在籍生増はできなかった。毎月の活動も、野外活動クラブ優先とまでは行かない状況があった。毎月多くのリーダーが参加しているので、リーダー会の活性化につなげたい。

※通年野外クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	0名	1名	1名	2名	4名

②季節野外活動

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
土日キャンプ	15名	-名	20名	38名	25名	19名	20名	16名	80名	73名
春期キャンプ	20名	17名	-	-	15名	21名	20名	29名	55名	67名
夏期キャンプ	110名	119名	105名	119名	120名	146名	135名	164名	470名	548名
冬期キャンプ	55名	68名	80名	73名	50名	56名	75名	57名	260名	254名
合計	200名	204名	205名	230名	210名	242名	250名	266名	865名	942名

[年間評価]

野外活動プログラムに関しては、予算定員を上回る参加があった。野外活動への関心が高い傾向が見られた。しかし、冬に関しては、寒波や天候不良によるキャンセルもあり、若干予算を下回った。

※季節野外クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	1名	0名	0名	1名	2名

③障がい児支援キャンプ

プログラム名	担当部署	実施日	参加人数
第42回ポニーキャンプ (熊本盲学校との共催)	ICR	7月23日～24日	児童：12名 ボランティア等：35名
第14回コスモスキャンプ (日本自閉症協会熊本県支部との共催)	阿蘇	8月17日～18日	児童：16名 ボランティア等：23名

[年間評価]

<ポニーキャンプ>

天候にも恵まれ、熊本県立盲学校と協力して、国立阿蘇青年の家に1泊2日で宿泊し、児童12名とボランティアスタッフ総勢47名で実施した。重複障がいのある児童もそれぞれに可能な範囲でプログラムに参加し、阿蘇の自然を満喫し、思い出深いものとなった。

<コスモスキャンプ>

ボランティアリーダーの学習会2回と前日から宿泊し、研修と準備を行い、発達障がいについての学びと参加者のひとりひとりの状況を加味し、キャンプに備えた。キャンプでは、雨の影響もあり、一部プログラム変更もあったが、子どもたち、リーダー共に楽しめるキャンプが実施できた。継続参加者が6割を超え、子どもたちが成長していく姿を見ることができるキャンプとなっている。

④災害児支援キャンプ

プログラム名	担当部署	実施日	参加人数
第4回あそぼうキャンプ	阿蘇	8月7日～9日	児童：23名 ボランティア等：27名

[年間評価]

精神科医師、外科医師、小児科医師、臨床心理士の専門家のサポートのもと、カヌー、プール、コンサート、川遊び、乗馬、キャンプファイヤー、クラフトなど、計画されていたプログラムが実施できた。いまだに、心の痛みを抱えている方が日常を懸命に生活している状況もあり、継続した支援の必要性を感じた。参加者も遠方は埼玉、名古屋、和歌山、京都、香川等県外からも多数参加があった。また、阪神淡路大震災の経験から災害発生後、5年目に「心のケア」が必要な児童が増えるというデータがあり、児童が思春期を迎える時期、保護者のカウンセリングだけでなく、メンバーのケア内容も変化してきている。

⑤指導者派遣

◆ゲーム指導

対象者	場所	期日	曜	人数	実施Y	指導者
山本小学校5年親子	小学校体育館	6月7日	日	35名	むさし	1名

(2) リーダーシップ養成活動

プログラム名	担当部署	実施日	参加人数
キャンプリーダートレーニング	野外教育	5月24日	5月開催：49名
		12月6日	12月開催：4名
熊本YMCAリーダー研修会	野外教育	11月23日	15名

[年間評価]

各期のリーダートレーニングは行っているが、年間を通したトレーニングの実施には至らなかった。今後は各期のリーダーを年間登録し、定期的なトレーニングが行えるような仕組みを確立していく。

(3) 自然環境の保全活動

プログラム名	担当部署	実施日	参加人数
1) 植林事業 (森林探検隊) (会場: YMC A的石キャンプ場)	野外教育	4月19日	91名
2) 環境教育プログラム (会場: YMC A的石キャンプ場ほか)	阿蘇	6月27日～28日 8月30日 10月25日	6/27～28: 20名 8/25: 16名 10/25: 35名 延べ: 71名
3) YMC Aエコキャンプ	阿蘇	8月21日～23日	17名
4) 熊本県青年森林協力隊推進事業	野外教育	9月22日～23日	32名
5) 九州キャンプミーティング	野外教育	2月20日～21日	48名

[年間評価]

1) 植林事業:

アースウィークの一環として毎年、阿蘇YMC Aで実施している植林活動。今年は市民、会員家族、YMC A高等学校、阿蘇・野外運営委員、阿蘇ワイズメンズクラブ、インディアンズクラブ、ユースリーダー、九州電力家族ボランティアらが参加した。阿蘇YMC Aと的石キャンプ場で阿蘇森林組合の指導の下、60本のブルーベリーと山桜の植樹、花壇づくりを実施した。的石キャンプ場は、地元的石地区、跡ヶ瀬地区の避難所としての機能が求められており、今後の植林事業のデザインをどうするか?が課題である。

2) 環境教育プログラム:

YMC A野外活動クラブのメンバーが地球環境保全を目的に、年間を通して環境教育プログラムを展開していく。6月27日～28日は、ホテルの観察会を中心に専門家を招いて開催した。水源の話やホテルの一生について講義を受け、夜には幻想的なホテルの輝きにメンバーは歓声をあげていた。この水源を守るために生活の中で自分ができることに年間を通して取り組んでいきたい。8月、10月の活動はこの的石キャンプのフィールド・ワークを中心に地的石地区、跡ヶ瀬地区の区長さんに協力いただき熊本県立大学との協働で実施できた。

3) YMC Aエコキャンプ:

「エコ探しの旅」をテーマに川遊びや阿蘇周辺の探索など、自然に触れ合いながら、自分たちが見つけた「エコ」をそれぞれノートにまとめていった。また、車帰風力発電所の見学等を行い、エコについて常に意識しながら活動を行い、最後のエコ宣言を行った。その宣言は、一人ひとり独自性があり、今後もその気持ちを持ち続けられるようにしたい。

4) 熊本県青年森林協力隊推進事業:

的石キャンプ場にブルーベリー、オリーブの木を植林したが、その周辺の下草刈りを中心に行った。阿蘇の林業企業、森林組合等の協働で森林総合経営計画を策定し関係機関との協働により開催することができた。

5) 九州キャンプミーティング:

今年は、鹿児島県霧島ふれあいセンターで開催された。霧島の豊かな自然を活かしたプログラムや現場ですぐ活用できるグループ・ワーク等まさにもりだくさんの2日間であった。熊本YMC Aからは、熊本県立大学との協働事業「防災教育とキャンプ」を事例発表した。来年は、宮崎県で開催予定である。

## 2. 健康教育活動

### (1) スポーツ活動

#### ア. 子どもスポーツ活動

##### 【活動計画及び目標人数】

##### ①通年クラス

##### 1) 体育英語幼児園

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	24名	23名	—	—	22名	22名	22名	25名	68名	70名

##### [年間評価]

低年齢プログラムとして、健康教育事業に欠かせないプログラムとなっている。一方で、認定子ども園などの影響により、募集人数の確保が年々厳しくなっている。YMCAが、差異化され、地域へ更に浸透できるように、満足度向上を果たしていきたい。

##### 2) 体操

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	215名	232名	250名	284名	201名	184名	251名	245名	917名	945名

##### [年間評価]

YMCA体操教室は、地域でも一定の評価をいただき、差異化できているプログラムの一つである。専門器具を使い、初心者指導から上級指導まで、これらも技術指導に加え、全人教育の手段として拡げていきたい。

##### 3) 新体操

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	38名	31名	33名	34名	63名	68名	48名	52名	182名	185名

##### [年間評価]

近年は、指導者確保が難しく、クラス数は減っているものの各クラスの満足度は高く、3月の発表会では、95%以上の出席率であった。今後もクラス数に見合った規模で質の高い新体操クラスの運営に励む。

##### 4) サッカー

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	44名	24名	121名	108名	136名	146名	107名	111名	408名	389名

##### [年間評価]

県内の他クラブなどとの競争により人数停滞につながっている。本来の目的である全人教育にYMCAサッカーにしかできない特色を加えることが求められている。クラス統廃合を行いながらもクラスの質向上はもちろん、参加者満足を第一に考え、地域に根差したサッカークラスを展開していきたい。

##### 5) 水泳

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	—	—	988名	976名	1,064名	1,111名	898名	904名	2,950名	2,991名

指導者トレーニングの充実により、前年度と比較し増員することができた。水上安全の理念と命を守り育てための水泳教室を今後も展開する。地域学校・園の理解を得ながら施設内のプールに留

まらず、活動を展開することが出来たことは、評価できる。

6) ヒップホップ (チアダンス含む)

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	10名	9名	20名	15名	50名	40名	120名	77名	200名	141名

[年間評価]

講師交代の影響などにより、目標数まで達することができなかった。他クラブなども活発的に行なっていることや外部講師が指導を行うため、YMCAダンスとしての差異化が果たせていない。今後も細かい、メンバーケアに心がけ、保護者との信頼関係を維持していく。

7) その他のプログラム (ワンコイン・あすなる等)

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	5名	17名	—	—	15名	10名	20名	0名	40名	27名

[年間評価]

中央YMCAヨガクラスは、毎回5名～10名程度の参加者がいる。登録制ワンコインでの参加のため、今後は持続可能な事業として確立していかなければならない。ながみねファミリーあすなるクラスは、知的障がい者のサポートクラスとして保護者の理解のもと運営ができています。一方で、募集強化のし辛さが出ているため、地域発信型の運営を心掛ける。

※通年クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	9名	13名	14名	27名	63名

②講習会

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
春期	75名	81名	115名	121名	185名	210名	145名	137名	520名	549名
夏期	105名	105名	355名	368名	355名	395名	305名	311名	1,120名	1,179名
冬期	75名	98名	115名	128名	185名	253名	145名	176名	520名	655名
合計	255名	284名	585名	617名	705名	858名	595名	624名	2,160名	2,383名

[年間評価]

季節プログラムは、年間を通して予算定員の確保ができた。シーズン生のリピーターが多く、期間限定でしか参加できない参加者の一定の満足度が測れている。一方で、新人数は横ばいであるため今後さらに学校・園などへ教育委員会の名義後援チラシ等を活用し積極的に募集を行っていく。

※講習会、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	1名	0名	0名	0名	1名

イ. 発達障がい支援活動

【活動計画及び目標人数】

①通年クラス

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	10名	3名	24名	22名	25名	27名	—	—	59名	52名

〔年間評価〕

<中央>

モータースキルの向上と併せて指導者とのコミュニケーションスキルの向上をねらいとして活動をしている。年間の活動を通して体の動きもスムーズとなり自分の意思をしっかりと伝えることができるようになった。今後の課題は個別指導計画に対する評価の見える化である。

<みなみ>

年度当初は指導者の確保が難しかったため、予算人数に達していなかったが、後半はリーダーの拡充と慣れてきたメンバーを複数人数一緒に指導するやり方で受け入れ数を増やした。現在のところ希望人数すべてを受け入れている。

<ながみね>

プール、フロアでのプログラムを実施している。ほとんどの参加者が両方のプログラムに参加しており、運動と同時に、子どもたち同士、指導者との関係づくりなどから社会性を学ぶ機会を持っている。

※通年クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	0名	0名	0名	—	0名

②キャンプ

		中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
		予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
デイキャンプ	7月	—	—	5名	1名	5名	4名	—	—	10名	5名
	12月	—	—	5名	0名	5名	3名	—	—	10名	3名
	3月	—	—	5名	0名	5名	4名	—	—	10名	4名
秋期キャンプ	9/21・22	—	—	5名	2名	5名	3名	—	—	10名	5名
合計		—	—	20名	3名	20名	14名	—	—	40名	17名

〔年間評価〕

<みなみ>

年間通してキャンプ活動へのみなみからの参加者は少ない傾向にあった。対象者の日程と合わなかったり、日常指導しているリーダーの参加が難しかったことが要因と考えられる。今後は、参加者が参加しやすい日程と日常関わる指導者ができるだけ参加するように努めたい。

<ながみね>

参加者数は少なかったが、それぞれに日常とは違う経験や、子ども同士、指導者との関係づくりなどを成長の機会となった。

※講習会、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	0名	0名	0名	—	0名

ウ. 成人スポーツ活動

【活動計画及び目標人数】

①通年クラス

	みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
アクア	○		○		○			
ジム	○		—		○			
フィットネス	○		○		○			
平均	838名	799名	190名	170名	788名	750名	1,816名	1,719名

〔年間評価〕

春から秋までに参加者を増加させることができた。前年度と比較し、参加者人数に底上げがなされた。一方で、冬場の退会やキャンペーン期間で入会し、短期間での退会が課題である。参加者個々のニーズに合った運動指導を行えているかどうか、再検討しながら改善する。

②水泳・たいそう教室

	みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	22名	18名	5名	20名	15名	13名	42名	51名

〔年間評価〕

コミュニティ形成の一つとして、またYMCA理念を伝える機会として、安定した運営ができた。今後は、このような登録制のクラスを拡大し、人と人が繋がることを大切にしたい。

エ. 高齢者スポーツ活動

【活動計画及び目標人数】

①メディカルチェック費用無料者（60歳以上の参加者：人数はウ①通年クラスを含む。）

	みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
延べ数	60名	21名	—	—	60名	59名	120名	80名

〔年間評価〕

積極的な外部告知まで至っていないが、一定の参加者が再検診しながら健康増進に寄与している。今後は、60歳以上の参加者を特にターゲットとし、YMCAが培っているノウハウや医療機関との連携を打ち出し、安心・安全を地域に拡げていく。

(2) 地域支援活動

【活動計画及び目標人数】

①水の安全キャンペーン

プログラム名	中央	みなみ	上通	ながみね	むさし	阿蘇	御船	益城	計
水の安全ハンドブック 配布部数	1,150	2,400	30	2,400	2,900	700	100	150	9,830
配布先：小学校	17校	37校	1校	23校	42校	7校	6校	5校	138校
幼稚園	園	園	園	2園	園	園	7園	4園	13園
保育園	園	園	園	2園	園	4園	6園	6園	18園

〔着衣水泳指導先〕

校・園名	期日	曜	対象	人数	実施Y	指導者
白川保育園	6/25	木	年少～年長	45名	むさし	2名
ひろやす保育園	6/26	金	年中・年長	66名	ながみね	2名
御幸小学校	6/29	月	1・3・5年	250名	みなみ	3名
御幸小学校	6/30	火	2・4・6年	282名	みなみ	3名
益城第二幼稚園	6/30	火	年長	58名	ながみね	2名
白川幼稚園	7/2	木	年少～年長	158名	むさし	2名
黒川保育園	7/2	木	全園児	50名	むさし	2名
嘉島西小学校	7/3	金	5・6年	123名	みなみ	3名
中島小学校(山都町)	7/6	月	3・4・5年	35名	みなみ	2名
尾ヶ石・永草保育園	7/9	木	全園児	25名	むさし	2名
かすみ保育園	7/9	木	年少～年長	70名	むさし	2名
出水小学校	7/10	金	1・3・5年	232名	みなみ	3名

出水小学校	7/13	月	2・4・6年	245名	みなみ	3名
西原小学校	7/14	火	4・5・6年	360名	ながみね	3名
山本小学校	7/14	火	全学年	80名	むさし	2名
菊陽南小学校	7/15	水	全学年	75名	むさし	2名
赤水保育園	7/16	木	全園児	40名	むさし	2名
木倉小学校	7/16	木	4・5・6年	41名	みなみ	2名
広安小学校	7/17	金	4年生	120名	ながみね	2名

②指導者派遣（熊本市内及び周辺地域）

場所	プログラム	日程	曜	対象	人数	実施Y	指導者
一新幼稚園	レクリエーション指導	6/13	土	園児	83	中央	1名
白川小学校	レクリエーション指導	6/7	日	小1	60	中央	1名

場所	プログラム	日程	曜	対象	人数	実施Y	指導者
月出小学校	レクリエーション指導	4/19	日	小1～6	70	ながみね	1名
月出小学校子ども会	レクリエーション指導	4/26	日	小1～6	100	ながみね	1名
帯山小学校	レクリエーション指導	5/10	日	小1～6	100	ながみね	1名
桜木小学校	レクリエーション指導	5/10	日	小1～6	37	ながみね	1名
長嶺小学校	レクリエーション指導	7/21	火	小2	170	ながみね	1名
尾上小学校	レクリエーション指導	9/17	木	小1	107	ながみね	1名
尾上小学校子ども会	レクリエーション指導	12/20	日	小1～6	50	ながみね	1名
健軍小学校	レクリエーション指導	1/15	金	小1	93	ながみね	1名
津森小学校	みんな泳げる 2.5m運動	6/19	金	小1～6	90名	ながみね	
託麻南小学校	みんな泳げる 2.5m運動	6/27	土	小1～6	22名	ながみね	
託麻東ささえりあ	高齢者運動指導	9/28	月	高齢者	5名	ながみね	
託麻東ささえりあ	高齢者運動指導	12/28	月	高齢者	5名	ながみね	

B. 子育て支援事業

1. 幼児保育活動（ぶどうの木幼稚園）

【活動計画及び目標人数】

①ぶどうの木乳児園（みなみYMCA）

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	13名	15名	13名	10名	51名
在園児数平均	15名	16名	11名	9名	51名

〔年間評価〕

1年間を通して、子どもたちは多くの体験をすることができた。特に年長児は一番のお兄ちゃん・お姉ちゃんである自覚で責任感がより一層増した1年となった。3月に引っ越しなどで退園者もいたが、登園者は増加傾向にある。

※参加費減免制度の利用者数

	みなみ
利用者数	0名



## 2. アフタースクール（学童保育）

### 【活動計画及び目標人数】

#### ①通年クラス

##### 1)アフタースクール

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	—	—	18名	17名	—	—	25名	19名	43名	36名

〔年間評価〕

<みなみ>

年間を通してほぼ予算通りの人数を受け入れることができた。今後は更なる参加ニーズに応えるために実施場所の拡大や指導者確保が大きな課題となっている。

<むさし>

人数の変動はあったが、年間を通じて安定した参加となった。今年度は特に子供たちの精神的不安定さが見受けられ、カウンセリングを行いつつ、保護者面談、保護者会などを年間通じて行い、より良い運営を心がけた。アンケートを通して、家庭の様子またニーズもうかがうことで、現場指導者であるリーダーとも課題共有を行った。

##### 2)児童絵画（書道・空手含む）

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	—	—	5名	2名	6名	23名	—	—	11名	25名

〔年間評価〕

<みなみ>

年間を通してほぼ予算通りの人数を受け入れることができた。今後は更なる参加ニーズに応えるために実施場所の拡大や指導者確保が大きな課題となっている。

<ながみね>

様々なニーズに応える文化的なプログラムを実施し好評であった。子どもたちの芸術活動や情操教育として幅広い子どもの成長の機会を提供できた。

### ※通常クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	—	1名	0名	1名	2名

#### ②講習会

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
春期	—	—	40名	40名	—	—	8名	11名	48名	51名
夏期	—	—	80名	128名	—	—	25名	23名	105名	151名
冬期	—	—	20名	23名	—	—	—	—	20名	23名
合計	—	—	140名	191名	—	—	33名	34名	173名	225名

〔年間評価〕

<みなみ>

最大限、受け入れきれぬ人数でプログラムを行った。内容としても工作、戸外活動などを入れて参加者の満足向上に努めた。今後もさらに多くの参加者に参加してもらうために活動スペースや指導者確保が大きな問題となっている。

<むさし>

特に春休み、冬休みはカレンダースケジュールの関係もあり、家庭で過ごす子どもたちも多く、参加率としては低かった。参加する子供たちが、長時間を過ごすのに不安や問題を抱えないよう、

カリキュラムに工夫を行い、楽しく過ごすことができるよう配慮した。講習会の内容は時節を踏まえ、工夫をしていきたい。

※講習会、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	—	3名	0名	0名	3名

C. 国際理解・国際教育活動（国際交流活動及び語学教育活動）

1. 国際交流活動

【活動計画及び目標人数】

①海外派遣

プログラム名	担当部署	実施日	参加者数
タイユースワークキャンプ	上通	スタディーツアーとして実施	—
タイスタディーツアー	上通	2月29日～3月4日	14名
ミャンマー・モガウンYMCA訪問	みなみ	6月24日～30日	1名
ミャンマーエイズ孤児院を訪ねる旅	みなみ	2月18日～24日	7名
インドネシア・メダンYMCA訪問	上通	今年度は実施できなかった	—
東ティモール・ユースワークキャンプ	ながみね	今年度は実施できなかった	—
カンボジアスタディーツアー	むさし	2月5日～10日	5名

[年間評価]

<みなみ>

6月24日～30日に現地の孤児院オープンセレモニーへ代表者1名を派遣した。また、2月には現状の視察と更なる支援が必要な子どもたちの状況確認のため、7名で孤児院を訪問した。

<上通>

8/23～8/31で計画していたタイワークキャンプは、出発直前の8/17に発生したバンコク中心部における爆破事件で実施延期とし、2月29日～3月4日にタイスタディーツアーとして14名の参加者で実施した。

<ながみね>

現地の受け入れが難しいため今年度は実施せず、物資提供などの支援活動を行った。

<むさし>

2月5日（金）～10日（水）にユースリーダー2名、一般1名 職員1名、会員（団長）1名の計5名で実施した。現地カンボジアYMCAの協力によって、プノンペン、シェムリアップを訪問し、体験を通じて学びを深めた。特に、カンボジアの抱える社会的問題（貧困、格差、教育など）の現状を知るとともに、現地YMCAが実施している社会貢献活動の状況を体験により学んだ。

② 海外受入

プログラム名	担当部署	実施日	受入者数
ICCPJ 海外キャンプカウンセラー受入 (ICCPJ: インターナショナル・キャンプカウンセラー・プログラム)	阿蘇/ 上通	7月15日～8月15日 上通: 阿蘇研修終了前後の1週間	3名
日本語学校・日本文化体験ツアー (タイ・バンコクの日本語学校職員)	東部/ 上通	8月17日～26日	2名

[年間評価]

<阿蘇>

前年度2名の受け入れをおこなったが、今年度は、台湾から、3名のカウンセラーの受け入れを行った。キャンプを受入れている利用者のケアを中心に、積極的にプログラムに取り組むことができた。また、YMCAキャンプでは、子どもたちの生活のケアにもチャレンジし、日本の子どもたち

との交流と信頼関係を深めることができた。

<上通>

ICCPJ：8月1日・2日のゆかた祭でのボランティア、8月20日・21日の小国町教育委員会主催の小中学生を対象にした国際交流会に参加してもらい、運営委員、スタッフ、ワイズメンズクラブ、熊本の子どもたち、熊本の大学生ら、多くのYMCA関係者と交流できた。

マレーシア：先方の高校の都合で、今年度の来熊はなくなった。

タイ・バンコクの日本語学校職員：

バンコク中心部の日本語学校 UniLan の経営者と職員の合計2名を招致。東部・上通YMCA両方の日本語学校を体験していただいたり、日本文化体験に参加していただいたりした。今後、日本語教育事業での提携を目指す。

③ 国内交流

プログラム名	担当部署	実施日	参加者数
1) 広島ピースセミナー	ICR	8月4日～6日	9名
2) PHD協会研修生との交流	ICR	1月14日	10名

[年間評価]

1) 広島ピースセミナー：

8月4日～6日までの2泊3日で、学生9名、職員1名を派遣した。世界各地、国内のYMCAから参加したユースが、英語を基本言語として平和について語り合いながら、交流をすることができた。原爆、戦争についての事前の研修も行った。被爆者の声を直接聞き、平和式典にも参加することで、平和の尊さを実感することができた。今後、地球市民として活躍することを期待する。

2) PHD協会

1月14日に高校生9名とネパール人女性、ミャンマー人女性、インドネシア人男性の3名の研修生との交流の機会を得た。それぞれの国の文化や自然、学んでいることなどについて、お話をいただいた。高校生らも関心を寄せ、アジアの国々を身近に捉えることができ、これから必要とされる国際的な視点を育成することとなった。

2. 語学教育活動

(1) 国際理解を深めるための外国語教室

ア. 子ども英語教育活動

【活動計画及び目標人数】

① Z o o クラブ

	中央		みなみ		上通		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	17名	19名	26名	33名	4名	4名	16名	20名	18名	13名	81名	89名

[年間評価]

全体では、目標値を上回る形で年度を終えることができた。保護者のニーズや子どもたちの成長段階に合わせて、内容の改善を繰り返しながら運営を行った。

② 子ども英語クラス

	中央		みなみ		上通		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	58名	51名	243名	231名	—	—	162名	151名	161名	168名	624名	601名

[年間評価]

目標値を上回ることができなかったが、キャラクター・ディベロップメントや平和学習、いじめ撲滅のためのピンクシャツデーの取り組みをレッスンに取り入れるなどして、公益目的事業としての英語教育を一貫して行うことができた。

※通常クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
利用者数	2名	1名	0名	1名	2名	6名

イ. 成人語学教育活動

【活動計画及び目標人数】

①英会話クラス

	みなみ		上通		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	37名	33名	150名	166名	4名	3名	42名	37名	233名	239名

[年間評価]

数値上は、上通が他の拠点をけん引した。結果、年平均は目標値を超えることができた。

※通常クラス、参加費減免制度（高校生～大学生）の利用者数

	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
利用者数	3名	30名	0名	5名	38名

②目的別クラス

	上通	
	予算	実数
平均	12名	22名

[年間評価]

「目的別コース」はTOEICで、「世界のことば」は長期在籍者による継続受講で人数を維持することができた。

③世界のことば

	上通	
	予算	実数
平均	54名	54名

(2) 国際理解を深めるための日本語教室

【活動計画及び目標人数】

①生活日本語クラス

	上通	
	予算	実数
平均	3名	0名

[年間評価]

②日本語教師養成クラス

	上通	
	予算	実数
平均	5名	6名

③日本語学校（短期留学コース）

	上通	
	予算	実数
平均	6名	5名

日本語教師養成講座は土曜日だけの講座で、働きながら受講する人が多い。短期留学コースは目標値、実数ともに1桁ではあるが、一年を通して安定してきた。学院日本語科との連携も実績ができてあり、上通日本語学校を経て日本語科に編入する留学生もいた。

[収益事業等]

1. 宿泊及び料飲に関する事業（阿蘇YMC A）

【活動計画及び目標人数】

宿泊利用者				飲食提供者			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
348名	292名	4,180名	3,506名	706食	764食	8,470食	9,162食

[年間評価]

宿泊利用は、予算に対して△482名となった。前年より232名利用は増えたが、梅雨の時期、冬季に利用を伸ばせず、目標達成には及ばなかった。飲食に関しては、新たにデリバリーBBQやお弁当の注文もあり、目標を達成できた。

2. 指定管理施設受託及びそれに附帯する事業

(1) 福岡県大牟田市所有の多目的活動施設「リフレッシュおおむた」の管理運営

【活動計画及び目標人数】

①施設利用（主催事業以外）

1) 宿泊利用

屋内利用者				キャンプ場利用者			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
241名	258名	2,890名	3,090名	56名	47名	690名	567名

2) 日帰り利用

キャンプ場				和室			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
344名	353名	4,130名	4,234名	558名	591名	6,690名	7,087名

体育館				クライミングウォール			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
1,192名	1,022名	14,300名	12,258名	175名	135名	2,100名	1,617名

料理室				研修室			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
473名	513名	5,680名	6,159名	458名	614名	5,500名	7,367名

音楽室				創作室			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
27名	18名	325名	213名	139名	145名	1,665名	1,742名

交流室			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
159名	214名	1,910名	2,572名

[年間評価]

年間では、入場者数合計は30,923名（昨年33,142名）で昨年比-2,219名の実績、施設利用合計43,249名（昨年45,286名）で昨年比-2,037名の実績となった。体育館工事がマイナスの原因であるが、予想よりマイナス幅が少なかった。体育館やクライミングウォールを別の施設利用でカバーした格好となった。施設利用料については、7,510,900円（昨年7,408,790円）となって、102,110円増となった。これは企業宿泊語学研修が貢献した形となった。

①指定管理者行うべき事業

1) 必須事業

なんでもやる隊 (定期：野外活動クラブ)			がまだす隊 (定期：野外活動クラブ)			春の野草を食べよう（共催） (4月)		
募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数

4月							110名	1	115名
5月	30名	1	20名	30名	1	31名			
6月	30名	1	20名	30名	1	31名			
7月	30名	1	16名	30名	1	31名			
8月	30名	0	未実施	30名	1	26名			
9月	30名	1	14名	30名	1	26名			
10月	30名	2	28名	30名	1	30名			
11月	30名	1	17名	30名	1	27名			
12月	30名	1	18名	30名	1	26名			
1月	30名	0	未実施						
2月	30名	1	16名						
3月									
延べ数	270名	9	149名	240名	8	228名	110名	1	115名

	ほたる観察会 (5月)			野外活動指導者講習会 (7月)			リフレッシュサマーキャンプ (8月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
5月	40名	1	38名						
7月				30名	2	46名			
8月							25名	1	33名
延べ数	40名	1	38名	20名	1	46名	25名	1	33名

	星空観察会 (8月、2月)			レクリエーション指導 (依頼により実施)			キャンプファイヤー指導 (依頼により実施)		
	募集人数	回	実数	募集人数	件	実数	募集人数	件	実数
6月				—	1	60名	—	—	無
7月				—	1	140名	—	1	43名
8月	60名	1	60名	—		無	—		無
9月				—		38名	—		無
10月				—		無	—	1	30名
2月	60名	1	0名	—		無	—		無
延べ数	120名	2	60名	—		238名	—		73名

2) 提案事業

	ヨガ&健康体操 (通年定期)			親子陶芸教室 (6月、7月・8月)			親子刺しゅう教室 (8月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
4月	10名	12	151名						
5月	10名	9	121名						
6月	10名	13	160名	35名	1	24名			
7月	10名	13	177名	30名	2	44名			
8月	10名	12	137名	30名	1	44名	14名	1	16名
9月	10名	12	161名						
10月	10名	12	157名						
11月	10名	11	148名						
12月	10名	10	160名						
1月	10名	9	116名						

2月	10名	12	165名						
3月	10名	12	135名						
延べ数	1,370名	137	1,788名	130名	4	112名	14名	1	16名

	YMC A介護予防 (9月、10月)			大人陶芸教室 (9月～11月)			手提げ作り教室 (10月～11月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
9月	10名	1	2名	10名	3	35名			
10月	10名	1	1名	10名	4	13名	20名	4	19名
11月				10名	2	6名	20名	1	14名
延べ数	20名	2	3名	90名	9	54名	80名	4	33名

	実用書道教室 (11月～12月)			親子ものづくり教室 (12月)			山野草苔玉教室 (5月・9月・12月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
5月							16名	1	24名
9月							16名	1	19名
11月	20名	1	9名						
12月	20名	3	9名	15名	2	40名	16名	1	24名
延べ数	80名	4	18名	15名	1	40名	16名	3	67名

	親子クッキング教室 (1月)			リフレスクッキング (1月、2月)			クライミング講習会 (10月～12月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
10月							20名	4	7名
11月							20名	4	7名
12月							20名	1	7名
1月	10名	2	35名	20名	1	9名			
2月				20名	2	15名			
延べ数	20名	2	35名	60名	3	24名	180名	9	21名

	アウトドアクッキング教室 (2月、3月)		
	募集人数	回	実数
2月	10名	1	34名
3月	10名	1	0名
延べ数	20名	2	34名

[年間評価]

リフレスなんでもやる隊は、予算定員30名のところ20名であったが、少ない分かえってメンバー同士のコミュニケーションが取れて、良いグループワークが展開できた。ヨガ・健康体操は、年間通して参加者が多く。年間黒字になったのは、ここ数年ではなかったことである。星空観察会は雨天で参加者ゼロであった。天候に左右されるプログラムである。親子クッキング、リフレスクッキング、アウトドアクッキングそれぞれ内容が充実したものとなり、参加者の満足度が高い結果となった。

(2) 共同企業体による熊本県御船町所有の「御船町スポーツセンター及び町民グラウンド」の管理運営

【活動計画及び目標人数】

①施設利用（主催事業以外）

(1) 御船町スポーツセンター							
プール				アリーナ			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
3,567名	3,903名	42,800名	46,835名	2,833名	3,977名	34,000名	47,718名

(1) 御船町スポーツセンター							
武道場				会議室			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
992名	1,434名	11,900名	17,206名	120名	340名	1,440名	4,080名

(2) 御船町町民グラウンド			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
1,142名	1,289名	13,700名	15,466名

[年間評価]

各施設の利用状況は、予算に対してプール(109.4%)、アリーナ(101.1%)、武道場(144.5%)、会議室(283.3%)、グラウンド(112.8%)と予算を上回る利用者数となった。また前年度の利用者数と比較しても前年を上回る結果であった。今後は、使用料収入の大きなプールの利用者増を目指していきたい。

②自主事業

	エアロビクス教室 (週2回)			ヨガ教室 (週2回)			腰痛改善教室 (月2回)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
4月	15名	8	15名	15名	8	91名	10名	2	0名
5月	15名	8	41名	15名	8	83名	10名	2	0名
6月	15名	8	47名	15名	8	74名	10名	2	16名
7月	15名	8	58名	15名	8	97名	10名	2	80名
8月	15名	8	37名	15名	8	66名	10名	2	48名
9月	15名	8	35名	15名	8	120名	10名	2	32名
10月	15名	8	41名	15名	8	90名	10名	2	0名
11月	15名	8	23名	15名	8	87名	10名	2	64名
12月	15名	8	20名	15名	8	72名	10名	2	64名
1月	15名	8	26名	15名	8	82名	10名	2	64名
2月	15名	8	27名	15名	8	79名	10名	2	0名
3月	15名	8	20名	15名	8	81名	10名	2	0名
延べ数	1,440名	96	390名	1,440名	96	1,022名	240名	24	368名

	介護予防体操教室 (週1回)			親子体操教室 (週1回)			ベビースイミング (週1回)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
4月	10名	4	0名	10名	4	12名	10名	4	4名



5月	10名	4	0名	10名	4	14名	10名	4	40名
6月	10名	4	16名	10名	4	16名	10名	4	55名
7月	10名	4	80名	10名	4	24名	10名	4	63名
8月	10名	4	48名	10名	4	5名	10名	4	35名
9月	10名	4	32名	10名	4	16名	10名	4	31名
10月	10名	4	0名	10名	4	25名	10名	4	17名
11月	10名	4	64名	10名	4	20名	10名	4	15名
12月	10名	4	64名	10名	4	28名	10名	4	12名
1月	10名	4	64名	10名	4	14名	10名	4	18名
2月	10名	4	0名	10名	4	10名	10名	4	31名
3月	10名	4	0名	10名	4	35名	10名	4	9名
延べ数	480名	48	368名	480名	48	219名	480名	48	330名

	障がい者スポーツ (月1回)			体組成測定 (月1回)			里山ウォーキング (5月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
4月	15名	1	0名	10名	1	0名			
5月	15名	1	0名	10名	1	0名	30名	1	0名
6月	15名	1	0名	10名	1	2名			
7月	15名	1	0名	10名	1	15名			
8月	15名	1	0名	10名	1	0名			
9月	15名	1	0名	10名	1	0名			
10月	15名	1	0名	10名	1	0名			
11月	15名	1	0名	10名	1	8名			
12月	15名	1	0名	10名	1	8名			
1月	15名	1	0名	10名	1	0名			
2月	15名	1	0名	10名	1	0名			
3月	15名	1	0名	10名	1	0名			
延べ数	180名	12	0名	120名	12	33名	30名	1	0名

	かけっこ教室 (5月、9月)			グラウンドゴルフ大会 (8月、10月、12月)			スポーツツーリズム (8月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
5月	20名	1	22名						
8月				30名	1	140名	100名	1	0名
9月	20名	1	45名						
10月				30名	1	0名			
12月				30名	1	0名			
3月						130名			
延べ数	20名	2	67名	90名	3	270名	100名	1	0名

	日帰りバスハイキング (9月)			トレイルラン (10月)			ノルディックウォーキング (3月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
9月	20名	1	0名						
10月				30名	1	0名			
2月			18名						

3月							30名	1	30名
延べ数	20名	1	18名	30名	1	0名	30名	1	30名

	なんでもやる隊 (定例：年9回)			歌声広場 (8月、9月、3月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
5月	20名	1	10名			
6月	20名	1	26名			
7月	20名	1	13名			
8月				20名	1	40名
9月	20名	1	18名			
10月	20名	1	18名			
11月	20名	1	0名			
12月	20名	1	12名	20名	1	35名
2月	20名	1	0名			
3月	20名	1	14名	20名	1	24名
延べ数	180名	9	111名	60名	3	99名

〔年間評価〕

この1年定例となったプログラムの定着は果たせたが、参加者数の変動が大きくみられるため、プログラムへの参加者の定着が次年度以降の目標となる。スポーツセンターの再オープン後にはこの点を中心に取り組みたい。また、その他の自主事業については引き続き御船町の関係団体との関係性を深め、協力しながら実施していきたい。

(3) 熊本県益城町所有の「益城町総合運動公園（益城町総合体育館、益城町陸上競技場、益城町総合運動公園テニスコート）、益城町町民体育館及び益城町町民運動場（5施設）」の管理運営

【活動計画及び目標人数】

①施設利用

(1) 益城町総合運動公園							
(A) 総合体育館				(B) 陸上競技場			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
944件	925件	11,096件	11,096件	97件	84件	1,160件	1,011件

(1) 益城町総合運動公園				(2) 益城町町民体育館			
(C) テニスコート				(D) 町民体育館			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
208件	281件	2,490件	3,376件	185件	201件	2,220件	2,406件

(3) 益城町町民運動場							
(E) 町民グラウンド				(F) 飯野町民グラウンド			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
202件	202件	2,420件	2,429件	83件	81件	990件	976件

(3) 益城町町民運動場							
(G) 広安町民第1グラウンド				(H) 福田町民グラウンド			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)	予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
33件	68件	400件	813件	93件	86件	1,210件	1,027件

(3) 益城町町民運動場			
(I) 津森町民グラウンド			
予算 (月平均)	実数 (月平均)	予算 (累計)	実数 (累計)
65件	66件	780件	796件

[年間評価]

予算件数に対し、4施設（総合体育館 97.9%、陸上競技場 87.2%、飯野町民グラウンド 98.6%、福田町民グラウンド 84.8%）が下回っている。他の施設は予算件数を上回っており、特にテニスコートは 135.6%で推移をしている。一方で前年度比の利用人数では、総合体育館において、年間を通して上回った推移（前年度比+2, 524名 月平均+210名）となっている。

また、上記統計には含まれないが、トレーニングルームの利用人数も全月とも上回った推移（前年度比+1, 326名 月平均+110名）となっている。

## ②自主事業

	ピラティス			ウェーブストレッチ			骨盤体操		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
4月	20名	4	50名	20名	4	16名	20名	—	—名
5月	20名	4	47名	20名	4	39名	20名	—	—名
6月	20名	4	59名	20名	4	58名	20名	4	35名
7月	20名	4	85名	20名	4	52名	20名	4	28名
8月	20名	2	29名	20名	3	28名	20名	2	9名
9月	20名	3	33名	20名	3	28名	20名	2	5名
10月	20名	5	67名	20名	5	39名	20名	4	11名
11月	20名	4	47名	20名	4	18名	20名	2	8名
12月	20名	4	32名	20名	4	22名	20名	2	4名
1月	20名	4	32名	20名	4	14名	20名	3	6名
2月	20名	3	17名	20名	3	12名	20名	4	9名
3月	20名	5	33名	20名	5	26名	20名	4	7名
延べ数	920名	46	531名	940名	47	352名	780名	39	122名

	簡単ヨガ教室			中・高校生バスケットクリニック			体幹トレーニング		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
5月	20名	4	18名						
6月	20名	4	28名						
7月	20名	4	19名	15名	1	47名			
8月	20名	4	0名						
9月	20名	2	5名						
10月	20名	2	12名	15名	1	3名			
11月	20名	1	6名	15名	3	3名	20名	3	12名
12月	20名	2	12名	15名	3	3名	20名	3	16名
1月	20名	2	17名	15名	4	15名	20名	3	10名

2月	20名	2	12名	15名	3	12名	20名	4	17名
3月	20名	3	13名	15名	5	20名	20名	4	10名
延べ数	600名	30	142名	300名	20	103名	340名	17	65名

	こつこつゆうゆう体操			かけっこ教室			こどもサッカー大会		
	募集人数	回	実数				募集人数	回	実数
4月							18チーム	1	24チーム
6月							18チーム	1	25チーム
7月	20名	1	3名						
9月				15名	1	45名			
11月							18チーム	1	17チーム
3月							18チーム	1	37チーム
延べ数	20名	1	3名	15名	1	45名	18チーム	4	103チーム

	ソフトバレー大会		
	募集人数	回	実数
9月	45チーム	1	61チーム
1月	30チーム	1	31チーム
延べ数	75チーム	2	92チーム

[年間評価]

毎週定期的に開催する自主事業講座に関しては、実施時間・実施スペース確保において、一般利用者の方々の利便性を損なわないことを前提に取り組む必要があったため、年度当初からの計画を途中から見直さざるを得ない状況となり、苦慮した。結果、目標募集人数の達成も非常に厳しい結果となった。

特別プログラムにおいても、指導者確保、年間予約との関係から、年度途中大幅な計画見直しを行ないながら取り組み、その中から、ソフトバレーボール大会など定期開催に至ったプログラムを生み出すことができた。

### 3. 不動産の貸付に関する事業

中央YMCA及び阿蘇YMCAの土地の一部を学校法人熊本YMCA学園に貸与

1) 中央	熊本市中央区新町1-3-8の土地のうち、460㎡を貸与
2) 阿蘇	阿蘇市車帰の土地のうち、1917㎡を貸与

### 4. 自動販売機手数料事業

各施設に設置している自動販売機の手数料収益

1) 中央	7台 (前年度と設置台数変更なし)
2) みなみ	5台 (前年度と設置台数変更なし)
3) ながみね	3台 (前年度と設置台数変更なし)
4) むさし	5台 (前年度と設置台数変更なし)

## II 処務の概要

### 1 評議員・役員等に関する事項

#### (1) 評議員

(2016年3月31日現在)

役職名	氏名	職業	就任年月日	担当事務	報酬	備考
評議員	小川祐一郎	教諭	2013年6月1日		無給	
評議員	立野 泰博	牧師	2013年6月1日		無給	
評議員	朴 哲浩	宣教師	2013年6月1日		無給	
評議員	藤本 義隆	自営業	2013年6月1日		無給	
評議員	来海 恵子	市議会議員	2013年6月1日		無給	
評議員	角本 浩	牧師	2015年5月31日		無給	
評議員	横田 佳恵	高校非常勤講師	2015年5月31日		無給	
評議員	島 優子	ピアノ演奏家	2015年5月31日		無給	
評議員	西川 晶子	牧師	2015年5月31日		無給	
評議員	福田 稠	病院理事長	2015年5月31日		無給	
評議員	藤本猪智郎	弁護士	2015年5月31日		無給	
評議員	森 博之	地方公務員	2015年5月31日		無給	
評議員	山内 恵美	団体職員	2015年5月31日		無給	
評議員	横田 博	自営業	2015年5月31日		無給	

#### (2) 役員 (理事・監事)

(2016年3月31日現在)

役職名	氏名	職業	就任年月日	担当事務	報酬	備考
代表理事	菅 正康	勤務医	2013年5月31日	理事長	無給	重任
代表理事	岡 成也	私学職員	2014年4月1日	専務理事	無給	重任
理事	明石 照久	大学教授	2013年5月31日		無給	重任
理事	内村 公春	(社福)理事長	2013年5月31日		無給	重任
理事	加藤 國博	自営業	2015年5月31日		無給	
理事	篠崎 泰子	デｲｰﾋﾞｽ施設長	2015年5月31日		無給	
理事	福島 貴志	(特活)理事長	2015年5月31日		無給	
理事	宮崎 隆二	会社役員	2015年5月31日		無給	
理事	米村 謙一	自営業	2015年5月31日		無給	
監事	大崎 隆義	税理士	2013年5月31日		無給	重任
監事	岩本 悟	会社役員	2015年5月31日		無給	

### 2 職員に関する事項

(2016年3月31日現在)

	フルタイム	パートタイム	合計
講師職	40名	—	40名
事務職	48名	39名	87名
合計	88名	39名	127名

### 3 評議員会・理事会に関する事項

#### (1) 評議員会

開催年月日	出席数	議事内容	会議の結果
2015年5月31日	11名	〔決議事項〕 ・2014年度の計算書類等及び財産目録承認の件 ・評議員の辞任及び任期満了に伴う選任の件	・計算書類等及び財産目録を承認 ・辞任者の後任2名及び満了者の後任7名を選任

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事及び監事の任期満了に伴う選任の件 〔報告事項〕</li> <li>・2014年度事業報告の内容報告について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事9名及び監事2名を選任</li> <li>・報告内容を了承</li> </ul>
2016年3月17日	12名	<ul style="list-style-type: none"> <li>〔決議事項〕</li> <li>・2016年度事業計画書承認の件</li> <li>・2016年度収支予算書等承認の件 〔報告事項〕</li> <li>・理事からの辞任の申し出について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書を承認</li> <li>・収支予算書等を承認</li> <li>・明石照久理事より辞任の挨拶がなされた</li> </ul>

(2) 理事会

開催年月日	出席数	議事内容	会議の結果
2015年5月14日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>〔決議事項〕</li> <li>・2014年度の事業報告承認の件</li> <li>・2014年度の計算書類等及び財産目録承認の件</li> <li>・第1回評議員会招集の件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告を承認</li> <li>・計算書類等及び財産目録を承認</li> <li>・招集を承認</li> </ul>
2015年5月31日	9名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事選定の件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事として菅正康理事を理事長に、岡成也理事を専務理事に選定</li> </ul>
2015年8月27日	7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>〔報告事項〕</li> <li>・職務執行状況の報告について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告内容を了承</li> </ul>
2015年11月30日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>〔決議事項〕</li> <li>・「みなみYMCA」及び「むさしYMCA」の施設改修の件</li> <li>〔報告事項〕</li> <li>・2015年度の収支見込みについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修の必要性は了承、詳細は再度協議することを決議</li> <li>・報告内容を了承</li> </ul>
2016年1月22日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>〔決議事項〕</li> <li>・2016年度予算編成方針の件</li> <li>・「みなみYMCA」及び「むさしYMCA」の施設改修の件</li> <li>・理事会の諮問機関設置の件 〔報告事項〕</li> <li>・職務執行状況の報告について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・編成方針を承認</li> <li>・「みなみYMCA」の改修を承認、「むさしYMCA」の改修は継続審議</li> <li>・設置を承認</li> <li>・報告内容を了承</li> </ul>
2016年3月7日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>〔決議事項〕</li> <li>・2016年度事業計画書承認の件</li> <li>・2016年度収支予算書等承認の件</li> <li>・第2回評議員会招集の件 〔報告事項〕</li> <li>・理事からの辞任の申し出について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書を承認</li> <li>・収支予算書等を承認</li> <li>・評議員会招集を承認</li> <li>・明石照久理事より辞任の挨拶がなされた</li> </ul>

#### 4 会員に関する事項（会員数の推移）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
普通会員	6,165	6,122	6,221	6,481	6,005	6,326	6,349	6,413	6,305	6,258	6,254	6,156	6,255
維持会員	1,059	1,064	1,073	1,072	1,083	1,085	1,092	1,089	1,104	1,101	1,102	1,083	1,084
合計	7,224	7,186	7,294	7,553	7,088	7,411	7,441	7,502	7409	7359	7356	7,239	7,339

#### Ⅲ 附属明細書

2015年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。